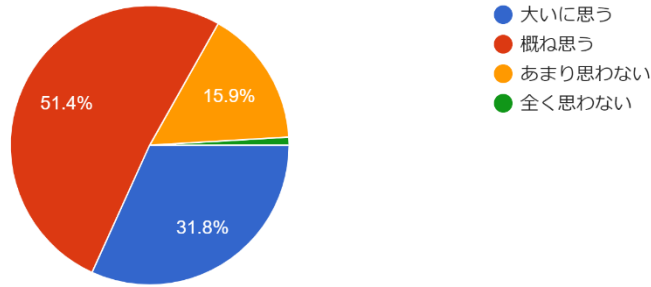


【教職員】TCP トリビンスプランの取組に対する評価アンケート

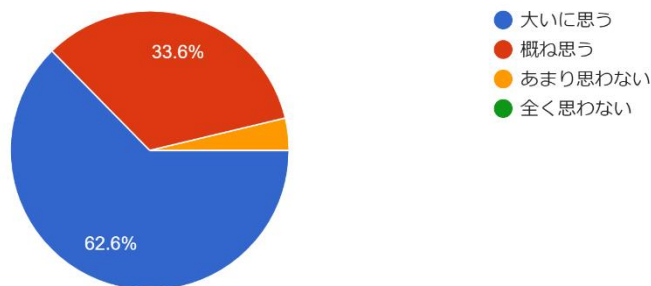
実施期間（令和3年10月15日～22日）回答数（107件）

●子供の「確かな学力」を保障する環境づくり

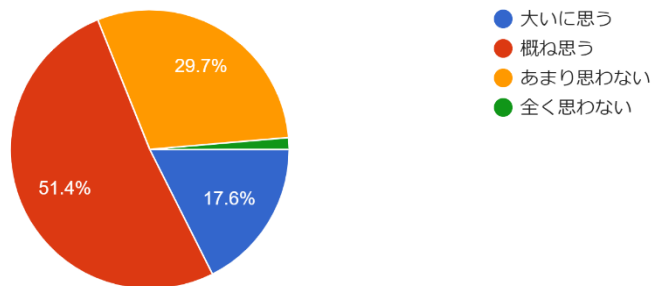
（1）授業日の平準化により放課後の時間を生み出したことは、教員の授業準備の時間を確保し、子供の学力を保障することにつながっている。



（2）町内各校に ALT を 1 名ずつ配置したことは、子供の英語学習の充実につながっている。

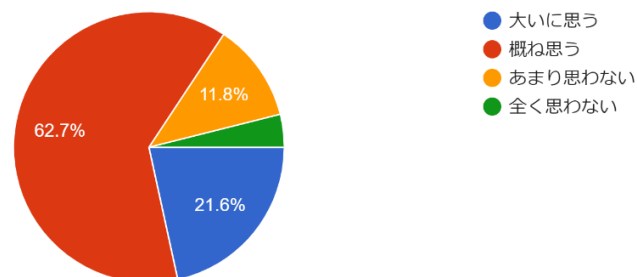


（3）プログラミング共通教材（MESH）は、子供のプログラミング的思考を高めることにつながっている。（小学校） ※74 件の回答

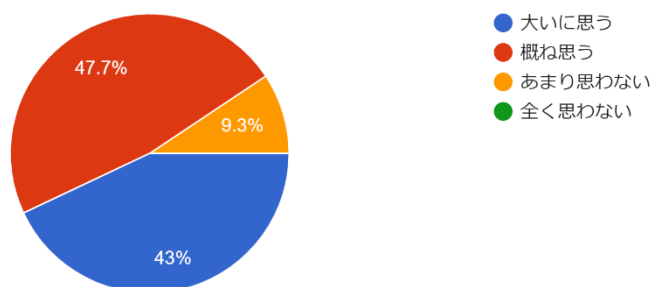


(4) 学校独自の中間テストを実施したことは、教師が生徒の学習状況をタイムリーに評価し、指導に結び付けることで、学力向上につながっている。

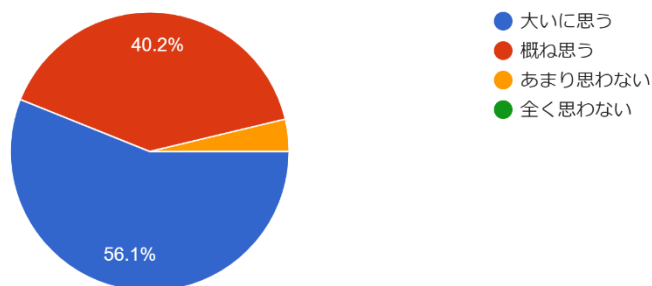
※51件の回答



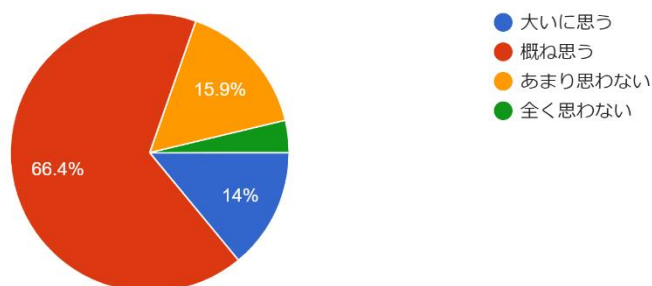
(5) 教員補助の配置や公設学習塾の開設は、学力定着に課題を抱える子供の学力向上につながっている。



(6) 教員補助や外国人児童生徒相談員の配置は、特別な教育的支援を要する子供を中心とした個に応じた支援の充実につながっている。

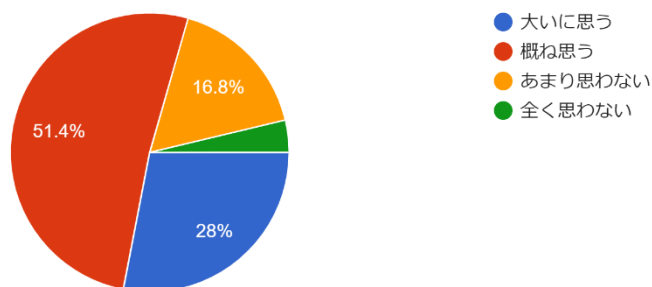


(7) 「幼児教育カリキュラム」や「吉田探究」は、幼児期と小学校期、小学校期と中学校期のつながりのある教育を推進する核となっている。

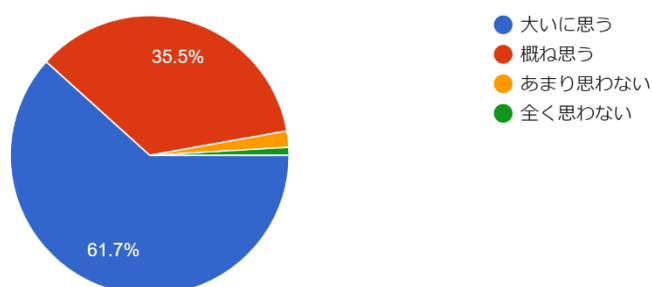


●教職員が授業に専念できる環境づくり

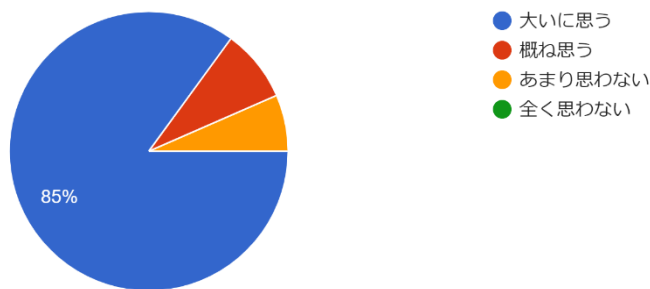
(1) 授業日の平準化により放課後の時間を生み出したことは、授業改善のための準備時間の生み出しと、超過勤務時間の削減につながっている。



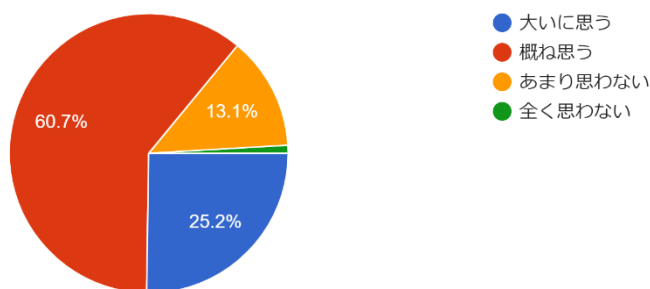
(2) 学校閉庁日を設定したことは、教職員の自己研鑽の時間を生み出すとともに、休みやすい環境を整える上で効果的である。



(3) 校務アシスタントや学校用務員、部活動指導員の配置は、教職員の業務を物理的に減らし、教職員の多忙化解消につながっている。

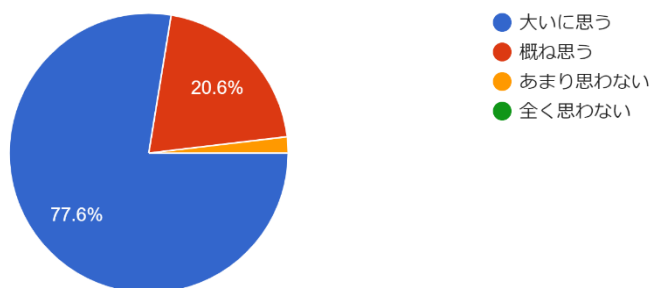


(4) 年2回の全教職員研修会やICT研修、その他、各主任レベルの研修会は、教職員の資質能力の向上につながっている。



●基盤的整備

(1) 「エアコンの完備」「トイレの洋式化」「教室照明のLED化」は、安心して教育活動を行うことにつながっている。



(2) 「一人一台端末の整備」「大型提示装置(テレビ)の整備」「Wi-Fi環境の整備」は、子供の学びの充実につながっている。

